

平成24年度決算の概要

資金収支計算書…資金収支計算書は、その年度の教育研究活動などの諸活動に対応する収入と支出のほか、その年度内のすべての収入と支出の顛末を明らかにするものです。したがって、資金収入には授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金なども含まれます。資金支出には、人件費や教育研究にかかる経費、借入金返済支出、施設関係支出、設備関係支出などが含まれます。

また、収入の部合計には、上記前受金のほか、未収入金および前年度からの繰越金を含めています。支出の部合計には、前払金や未払金および次年度への繰越金を含めており、収入の部合計と支出の部合計が合うこととなります。

(収入の部)

1. 学生生徒等納付金収入(4,384,717千円)

平成24年度（H24. 5. 1現在）の学生生徒等数は、4,308名（大学1,947、短期大学922名、高等学校742名、中学校295名、小学校237名、幼稚園165名）でありました。下記のとおり前年度と比較すると70名の増加、金額においては147,736千円の増加となりました。各学校の学生等数は以下のとおりです。

	大 学	大学院	短期大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	計(名)	対前年度
H22	1,959	80	872	756	379	238	200	4,484	△83
H23	1,824	81	899	690	327	239	178	4,238	△246
H24	1,871	76	922	742	295	237	165	4,308	+70

2. 手数料収入(80,259千円)

入学検定料が大半であり、平成24年度の志願者数は以下のとおりでありました。学園全体としては、対前年度748名の増加しました。しかし、収入額は、大学のインターネット出願（検定料半額）による入学検定料割引により6,945千円の減少となりました。

	大 学	大学院	短期大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	計(名)
H22	1,547	100	580	766	259	57	84	3,393
H23	1,251	124	630	653	249	59	44	3,010
H24	1,665	104	591	1,050	233	57	58	3,758

3. 寄付金収入(67,664千円)

一般寄付金として、大学教育後援会様より39,217千円、短期大学保護者会様より8,371千円、中高保護者会様より10,401千円、小学校保護者会様より1,460千円、幼稚園母の会様より2,307千円、他幼稚園様より100千円、旧教員様より100千円頂きました。

特別寄付金は、あおい会様より奨学金として4,608千円、短大保護者会様よりプラバー奨学金として800千円、千久作会員様より300千円頂きました。

4. 補助金収入(1,151,800千円)

国庫補助金485,821千円、京都府補助金664,225千円、京都市補助金1,306千円、その他(城陽市、奈良県、兵庫県)447千円の補助金収入がありました。対前年度25,893千円の増加となりました。

国庫補助金である私立大学等経常費補助金は、昨年度の月照館等建設増加分、および学生数等の増減率の変更により減少となりました。

また、今年度は、高校・中学校舎の耐震工事に対する補助金242,076千円(国庫補助金181,557千円、京都府補助金60,519千円)を頂いております。

5. 資産運用収入(52,247千円)

国債、地方債等の債権、銀行預金等の利息、配当金、および施設等を貸し出した際の利用率収入です。前年度と比較して3,986千円の増加となりました。

6. 資産売却収入(1,317,916千円)

第9回30年国債売却97,067千円、第10回30年国債売却177,818千円、第11回30年国債売却147,866千円、第132回20年国債売却198,534千円、第136回20年国債売却99,637千円、第138回20年国債売却98,890千円、第139回20年国債売却198,104千円、BNPパリバ債権満期300,000千円の売却収入であります。

7. 事業収入(40,171千円)

京都文教大学心理臨床センターにおける相談料等収入8,211千円および公開講座収入271千円その他、幼稚園の預かり保育料986千円、大学の推薦入学者に対する入学前教育指導による収入が1,599千円、産業メンタルヘルス実施講座収入が2,310千円、教員免許更新講習の収入が16,117千円等の収入で、対前年度8,649千円の増加となりました。

8. 雑収入(70,583千円)

退職金財団よりの退職者13名に対する交付金受入収入61,498千円、事務委託手数料、教育実習委託料等の雑収入が9,085千円であります。

9. 前受金収入(943,875千円)

平成25年度入学者の授業料等であり、平成24年度に入金となった金額で、貸借対照表の負債勘定科目に計上されます。

10. その他の収入(489,311千円)

前年度末における未収入金の収入分223,545千円(退職金財団未収入金158,262千円、補助金未収入金59,999千円他)、預り金収入259,314千円(源泉税、地方税等の預り分34,980千円、修学旅行費等預り分24,328千円、あおい会預り分145,177千円等)及び学生への貸付金回収収入100千円であります。

11. 資金収入調整勘定(△1,288,979千円)

資金収支計算書は、資金の顛末を表すものであり、上記の収入科目の中には翌年度に収入となる未収入金と、前年度に収入となっている学納金の前受金が含まれています。よって、当年度の実際の資金の残高を表すためには、この調整勘定科目が必要となります。

つまり、上記収入科目の内、1頁の1. 学生生徒等納付金収入の中には、前年度に入金されている前期末前受金と、当年度まだ入金されていない補助金収入、退職金財団からの受入収入等の期末未収入金が含まれているため、除外する調整勘定科目です。

12. 前年度繰越支払資金(4,873,154千円)

前年度より繰越されている資金で、前年度の貸借対照表上の現金預金額であります。

13. 収入の部合計(12,182,719千円)

1～12迄の合計額がこの金額で、収入の総額となり、支出の部合計額と同金額となります。

(支出の部)

1. 人件費支出(3,720,690千円)

教員人件費2,528,857千円(対前年度40,673千円増加)、職員人件費1,050,979千円(対前年度13,114千円減少)、役員報酬28,907千円(対前年度同額)、退職

金111,946千円（対前年度84,006千円減少）であります。対前年度56,446千円の減少となりました。

教職員数で比較しますと、教員数は216名と前年度比2名の増加であります。職員数は133名と2名の減少となっています。

また、退職者数は、教員10名（対前年度8名減）、職員3名（対前年度8名減）となっています。

2. 教育研究経費支出(1,114,917千円)

対前年度35,215千円の減少です。対予算においては35,465千円超過しています。以下が超過の主な理由です。

- ①私立高等学校あんしん修学支援事業（一定収入以下の世帯に対する減免制度）により、一旦学校が奨学金支出として一定額を支出する必要があります（後ほど京都府補助金として入金されます）。この奨学金支出として97,405千円のうち補正予算に未計上分の20,462千円を予算外支出いたしました。
- ②大学が取得した GP（文部科学省の教育改革等の優れた取り組みに対する補助金）に係る経費14,372千円を予算外支出いたしました。

3. 管理経費支出(351,205千円)

対前年度21,703千円の増加です。進学ネット等への広報費に122,617千円、ホームページ更新、幼稚園バス管理費等支払報酬に99,378千円が主な支出内容です。

4. 借入金等利息支出(45,737千円)

日本私立学校振興・共済事業団並びに市中金融機関への支払利息分です。

5. 借入金等返済支出(238,260千円)

日本私立学校振興・共済事業団並びに市中金融機関への借入金返済額です。

6. 施設関係支出(884,474千円)

土地支出 1,689千円……岡崎キャンパス国有地買受

建物支出 833,600千円……中学・高等学校 1.2号館耐震工事 801,565千円
中学・高等学校 中央職員室照明増設 221千円
宇治キャンパス 西体育館 GHP エアコン 31,815千円

構築物支出 49,185千円……宇治キャンパス バス乗り場・バイク置き場 40,302千円
小学校 グラウンド 遮熱仕様塗装工事 5,838千円他

7. 設備関係支出(46,622千円)

教育研究用機器備品支出 13,457千円

その他の機器備品支出 1,715千円

図書支出 31,450千円

8. 資産運用支出(941,797千円)

BNP パリバ債権300,000千円、りそな銀行劣後債100,000千円、第9回30年国債96,698千円、第138回20年国債97,977千円、第136回20年国債99,261千円、第139回20年国債198,230千円、第141回20年国債49,631千円の購入支出です。

9. その他の支出(326,753千円)

前年度の未払金支払分52,210千円、預り金支払支出分256,965千円他であります。

10. 資金支出調整勘定(△54,035千円)

前述のとおり、資金収支計算書は当年度の資金の顛末を表す必要から、支出科目の中に次年度以降の支出(未払金)が含まれていますから、それを差し引く必要があります。内訳として、私学共済掛金23,101千円、私大退職金財団掛金21,193千円、消費税支出分569千円、労働保険料7,164千円等があり調整のためマイナスします。

11. 次年度繰越支払資金(4,566,299千円)

次年度へ繰越す資金で、年度末において貸借対照表上の現金預金科目となっております。

12. 支出の部合計(12,182,719千円)

収入の部合計と同額であります。